

勝山市小中学校の再編素案について考える会 (校區別座談会) 報告

市内12小中学校で開催



7月30日～8月30日にかけて、市内全ての小中学校において、「勝山市小中学校の再編素案について考える会(校區別座談会)」を開催しました。この会では、児童生徒の保護者および就学前児童の保護者を対象に、小中学校再編に関する市の基本的方針をお示しして、参加者から多くのご質問・ご意見をいただきました。今回、その要約と市の考え方を紹介します。

再編の時期について

中学校については、平成27年春の開校を目指しています。

小学校については、地域の特性もあり、さまざまな形態での進め方も考えられますので、現時点では目標年次を設定していません。今後いろいろな形で意見交換を深めていきたいと考えています。

再編方法と再編決定時期について

地区別、校區別座談会でいただいたご意見を集約・分析する中で、素案の再検討を行います。その結果を再度、市民の皆さまにお示しして、ご意見をお聞きます。中学校については、平成23年6月頃までには決定したいと考えています。

スクールバスの運行について

- 子どもや保護者の負担とならないようしてほしい
- 部活で遅くなった場合や土日、長期休暇時の部活動への対応は？

どの地区でも、児童・生徒の足の確保が心配という声が多く出ていますので、最重要課題として対応していきたいと考えています。

初の児童生徒がバスに乗ってから、30分以内に学校に着くようにしたいと考えています。

部活動などで遅くなった場合や、休日の対応については、時間帯をある程度整理することにより、スクールバスに対応する予定です。

再編による施設面での配慮

- 今でも校門周辺は送迎の車で混雑していますが、通学距離が長くなった場合、更に混雑が予想されます。対応は？

道路の整備も視野に入れ、検討する必要があると考えます。

精神面での配慮について

- 中学校再編が平成27年とすると、現在の小学4年生が中学3年生で統合を迎えることになり、友だちとの人間関係や、高校受験など、精神面で心配です

学校再編は子どものためということが大前提であり、今よりもっと良い環境を整えていくことを基本としています。新しい中学校に入る生徒の心理的な面への配慮は重要であり、クラス編成についてももちろん、その他の課題についても教員や保護者と相談しながら

ら、きめ細かな対応をしていきたいと考えています。

中学校を1校とするのではなく、2校とする考えは難しいのですか

中学校を再編する場合、基本理念としている1学年4クラス以上(1クラス30人程度)のためには、2校でなく1校とする必要があります。いずれは1校とすることを想定すれば、現時点では段階的ではなく、3校から1校とするという考えですが、2校案についても十分検討していきます。

小学校を自由学区にするという考えはありますか

勝山市を一つの校区として、希望する学校に行けるよう、校区を撤廃することもひとつの考え方です。さまざまなご意見をお聞きし、検討していきます。

※その他、新体育館との関係、財政面について多数のご質問、ご意見をいただいています。校區別座談会の内容は、市のホームページをご覧ください

問 教育総務課 (28・811)

平成22年度

勝山市表彰式



市制施行記念日の9月1日、教育会館で「勝山市表彰式」が挙行されました。地方自治や産業などの各分野で功績のあった個人に対し、山岸市長から表彰状が手渡されました。表彰を受けた皆さんは次のとおりです。(順不同・敬称略)

地方自治功労

松山 保雄(72) 若猪野
長年にわたり収入役、助役、副市長としてその要職を務め、市民福祉の増進と地方自治の振興発展に寄与された

産業功労

福田 稔(74) 平泉寺町赤尾
長年にわたり東部土地改良区の副理事長を務め、また勝山市土地改良区、農事組合法人の設立等に尽力し、農業経営の発展と地域振興に寄与された

木下 孝雄(63) 村岡町浄土寺
長年にわたり勝山商工会議所議員としてその要職を務め、商工業の発展と地域振興に寄与された

福祉・保健功労

島田 美枝子(68) 鹿谷町本郷
長年にわたり主任児童委員(民生委員)として児童福祉に関する支援等に尽力し、地域福祉の向上に寄与された

消防・交通功労

小林 謙一(60) 北郷町檜曾谷
長年にわたり消防団員として、献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に努め、市民生活の安全に寄与された

結川 隆一(56) 北谷町北六呂師
長年にわたり消防団員として、献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に努め、市民生活の安全に寄与された

まちづくりに対する想いを手紙に込めて

「市長への手紙」

～9月は市民提案月間～

募集中

テーマ「第5次勝山市総合計画(2012)」

市では本年度中に、平成23年度～平成32年度までの10年間にわたる、まちづくりの指針となる「第5次勝山市総合計画」を策定します。

この計画では、環境、子育て、健康長寿、福祉、商工業、観光、農林業、雇用、雪対策、インフラ、交通、教育、文化、スポーツなど、さまざまな視点から「長期的な展望に立った持続可能なまち」をつくることを目指します。

そこで、市民の皆さまからご意見をお聞きし、実効性のある総合計画とするため、市長への手紙を募集します。いろいろなお意見、ご提案をお寄せください。



- 提出方法▼手紙、ハガキ、メールなど手紙を送る際のお願い▼
- 必ず住所、氏名、電話番号の記載をお願いします。匿名や無記名のかたにはお応えできません
 - 地域内のご要望や苦情などについては、各地区の区長を通して市へお申し出ください
- 手紙についてのお約束▼
- 記載していただいた個人情報については、内容確認などの目的以外には利用しません
 - お寄せいただいた手紙の要約を、広報かつやまおよび勝山市ホームページに掲載することがあります
- ※第5次勝山市総合計画については、市ホームページをご覧ください

問 011・8501

勝山市元町一丁目一番一号
秘書・広報課 広報広聴グループ (28・1114)
E-mail kouhou@city.katsuyama.lg.jp